

獣害から農地を守って農地維持

(組織名) 芦ヶ久保環境を守る会 (市町村) 横瀬町

1 地域の資源

田	畑地	用水路	パイプライン	排水路	農道	獣害対策ネット
ha	15.89ha	km	km	km	0.8km	4.0km

2 活動組織の構成員

- ・ 農業者個人47人、アスガキボウ委員会

3 地域の様子と取組内容

本地域は、西武鉄道の延伸に伴い、昭和40年代からプラムやブドウをはじめとする果樹栽培が盛んとなり、観光農園として賑わいを見せた。しかし、高齢化と後継者の不足や、獣害被害の問題から、農園数は減少の一途を辿っていた。従来から中山間直接支払制度や緊急雇用対策を活用し、農地維持や広域獣害対策ネットの設置を行ってきたが、今後更なる地域資源及び農村環境の保存並びに施設の長寿命化を目指し、令和2年度より多面的機能支払制度の活動を開始した。

活動内容としては、構成員で農地、農道、獣害対策ネットの点検を行い、活動計画を作成。その後、作成した計画に基づき、農道周辺の草刈り、広域獣害対策ネットの保守管理や点検、新設や更新を実施し、農地維持や地域資源の向上を目指している。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・ 施設の点検・機能診断	・ 年度活動計画の策定	・ 農道の草刈り ・ 獣害対策ネットの点検、補修、新設、更新



農道の草刈り



獣害対策ネット



5 取組の効果及び今後の展望等

地域住民の高齢化や人口減少による、地域の農地や農道、広域獣害対策ネットの維持管理機能の低下や、獣害による農村環境の悪化が懸念されるなか、農業者を中心とした維持管理体制を構築することで、獣害被害の抑制や農地維持だけでなく、地域全体での農村環境への保全活動の意識も高まった。